

# 都市再生整備計画

よねやまちく  
米山地区

みやぎけん とめし  
宮城県 登米市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	
まちなかウォークアブル推進事業	

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	宮城県	市町村名	とめ市	地区名	よねやま 米山地区	面積	約165 ha
計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度				

目標

- 大目標:第二次登米市総合計画における登米市の将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」
- 目標1:都市づくりの目標(1)豊かな自然との共存都市の実現
  - 目標2:都市づくりの目標(2)利便性の高いコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現
  - 目標3:都市づくりの目標(3)歴史・文化・伝統を活かした特色のある地域拠点の実現
  - 目標4:都市づくりの目標(4)広域的な発展・交流都市の実現

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)

- ・拠点間の移動については公共交通機関や自動車、地域内においては徒歩・自転車等の自動車依存から脱却した交通手段など、移動目的に応じて交通手段を棲み分けた生活体系の確立を目指します。
- ・9町が合併して誕生した本市は、歴史と特性があるそれぞれの地域に中心となる市街地または主要な集落地が存在しており、これらは市内における中心拠点・地域拠点として位置づけられます。また、これらの拠点間を結びつけ、拠点相互の連携強化や地域格差の是正を図るとともに、生活及び都市活動の利便性の向上に資する放射・環状のネットワークの構築を図ります。そして、それぞれの拠点には、地域の規模に応じた「コンパクトシティ」の形成を図り、高齢者や子育て世代などに対して環境負荷にも配慮した「誰もが歩いて暮らせる市街地、集落地の形成」、「誰もが住み続けたい、住みたいと思えるまちづくり」を目指します。
- ・これからのまちづくりにおいては、地域規模に見合った都市機能を集約した、歩いて暮らせる集約型都市構造の形成や各地域間で都市機能が連携し合えるような移動しやすい交通網ネットワークの充実が求められています。
- ・公的不動産の活用策として、米山地区の米山総合支所周辺に点在していた公共施設(7施設)による複合施設の整備を図り、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図るもの。

まちづくりの経緯及び現況

【登米市の概況】

- ・本市は、宮城県の北東部に位置し、北部は岩手県に、西部は栗原市及び大崎市に、南部は石巻市及び遠田郡に、東部は気仙沼市及び本吉郡に接し、市域面積は536.12km<sup>2</sup>※で、県全体の7.36%を占める県内第5位の規模となります。
- ・本市と主要周辺市との直線距離は、仙台市まで70km、大崎市まで25km、石巻市まで30km、一関市まで30kmです。
- ・地勢は、西部が丘陵地帯、東部が山間地帯で、その間は広大で平坦肥沃な登米耕土を形成、県内有数の穀倉地帯となっており、環境保全米発祥の地として、宮城米「ひとめぼれ」などの主産地となっています。また、全国でも有数の肉用牛生産地として有名な地域です。

【米山地区の現況】

- ・米山地域は、ほぼ平坦な地形に広大な田園地帯が広がっており、西野地区、桜岡地区、善王寺地区、中津山地区の4つの主要な集落が形成されています。また、各地区には、公民館や学校などの公共施設が立地しています。
- ・主要な集落では、地域住民の日常生活の利便性向上に寄与する生活環境の改善・向上を図る必要があります。
- ・幹線道路は、国道 346 号や県道が通っており、中央部の沿道には道の駅「米山」が整備され、地域の交流拠点となっています。交流促進や地域情報を発信する施設として、道の駅を有効に活用していく必要があります。また、田園景観・田園環境や地場産品などの地域固有の資源を有効活用し、地域の活性化を図る必要があります。

課題

- ・米山地区の公共施設(7施設)は、その多くが昭和40年代後半から50年代にかけて建築され、建物本体及び設備の老朽化が著しく、コンパクトシティを形成し持続可能な多世代交流を創出するため安全で安心な拠点づくりが求められている。

将来ビジョン(中長期)

- ①登米市公共施設等総合管理計画(平成28年度から令和17年度までの20年間)※平成28年12月策定、令和4年3月改訂
  - ・公共施設等総合管理計画は、公共施設の管理等に関する基本方針を3つの視点(施設の長寿命化、資産保有の最適化、財産の有効活用)から定めている。
  - ・個別計画は、登米市公共施設等総合管理計画に基づく行動計画に位置付けられ、施設分類ごとに全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することを目的として策定している。
- ②第二次登米市総合総合計画(2016~2025)※令和2年12月改定
  - ・登米市の将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現を目指して、「Ⅰ・そだつ」「Ⅱ・いきる」「Ⅲ・つくる」「Ⅳ・くらす」「Ⅴ・ともに」をまちづくりのキーワードとして、5つのまちづくりの基本政策により、各分野における施策を展開することとしている。
- ③都市計画マスタープラン(2008-2027)※令和元年11月改定
  - ・都市づくりの理念を「協働による登米市の持続的な発展」と定め第二次登米市総合計画において定められたまちづくりの基本理念及び将来像を共有していくものとしている。
- ④都市交通計画マスタープラン(2008-2028)※令和元年11月改定
  - ・現在の第二次登米市総合計画においては、本市の都市構造上の特徴を鑑み、市民の快適かつ円滑な日常生活を支えるため、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の形成が掲げられました。一方、さらなる高齢化の進展により、自動車社会からの脱却や交通弱者への対応が喫緊の課題となっているため、交通サービス全体での維持・向上が求められています。これを受けて、本市においても交通ネットワークの再形成が必要であることから改めて見直すこととしました。

都市構造再編集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・新たに整備する複合施設は、米山地区にある西野、桜岡、善王寺、中津山の集落のうち西野に整備する計画である。
- ・西野は、米山地区のなかで、最も人口や公共施設が集積された中心地域であることから、より多くの人々の暮らしに即した地域拠点として集約に適したエリアととらえている。また、西野には、商店街や企業の支店等を中心とした経済機能をもとより有しているところであり、各地域コミュニティ拠点と地域公共交通で結ぶことで、人口減少と高齢化が進むなかにおいても各地域の日常生活を支えるサービスの提供やコミュニティ活動が継続的に展開できると考えている。
- ・複合施設で行われる活動を充実させていくことで、米山地区に居住している市民が愛着と誇りをもつとともに交流機能と教育文化機能の充実が図られる。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値		
				従前値	基準年度	目標年度
施設利用者数	人/年	公民館等の利用者数の比較	利用者数の増加(維持)は、交流拠点としての活用が図られていることを示す	18,601	R4年	R8年
満足度	点	米山地区におけるまちづくり市民意向調査における満足度の比較	利用者満足度の上昇は、交流拠点としての魅力が増していることを示す	2.50	R元年	R8年
地域におけるコミュニティ活動等の促進	事業数/年	複合化施設を活用した事業数(地域づくり事業、公民館事業、交流イベント数等)の比較	利便性の高い複合化施設の魅力を活かし、交流促進を図る	109	R4年	R8年

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【複合施設の基本理念】                      「公共施設の集約による複合化メリットを最大化する安全安心で持続可能な多世代交流拠点」                      ・多様な機能を集約させた利便性の高い交流拠点の創出                      ・利便性の高い複合化施設の魅力を活かした事業開催による多世代交流の創出                      ・市民にとっての安全・安心を提供するとともに、持続可能な地域の拠点を創出</p> <p>【複合施設の整備の基本方針】                      ①市民活動・教育等、多様な活動が展開・連携する拠点                      公民館事業、スポーツクラブ事業、学校教育等を複合施設内で展開し、その集客力を活かして地元企業の参画や、それらの利用者が交流しやすい空間構成により、様々な世代が交流する拠点を旨す。                      ②学校と地域が協力して共に歩んでいく学びの拠点                      現在の学校・地域ボランティア・公民館等が連携した事業を複合化により発展させ、学校と地域の連携のさらなる活性化を旨す。                      ③安全安心で、ニーズの変化に対応できる運営・管理                      建築計画上の小学校のセキュリティの担保、防災拠点として整備し、社会情勢の変化に対応できる計画を旨す。                      ④コンパクトで利便性の高い施設計画                      スペースの共用により、コンパクトだが多様な用途として使えるスペースを確保し、施設整備費や維持管理コストの低減を旨す。                      ⑤道の駅など周辺施設と連携し、エリア全体の活性化                      道の駅等の周辺施設と連携したイベント等の実施により、計画地周辺も含めた活性化を旨す。                      ⑥SDGs、カーボンニュートラル、木造・木質化、ICT活用等の次世代技術の導入検討                      予約管理システム、書類の電子化等、先進技術(ICT等)を導入した施設を旨す。                      また、複合施設の木造化や地産エネルギー(太陽光・木質バイオマス等)の導入、SDGsを意識した施設計画を旨す。</p>	<p>【基幹事業】(高次都市施設 地域交流センター) 米山地区公共施設複合化整備事業                      【基幹事業】(地域生活基盤施設 情報板) 施設案内看板                      【提案事業】(事業活用調査) 事業効果分析調査</p>
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み事例】                      ・西野地区地域づくり計画書の策定(令和2年度～令和6年度)※市とコミュニティ組織が協働で策定したもの                      平成26年度に「西野地区地域づくり計画」が策定され、令和元年に見直しを行い「この元気プロジェクト」明日の西野をつくる三本柱」を軸とした様々な取組が行われてきた。                      (1)自然環境・・・人にやさしい環境づくり事業、自然環境保全マナーアップ事業、地元産業を活かした事業など                      (2)人づくり・・・地域人材掘り起こし活性化事業、コミュニティ・スクール推進事業、地域の名人！派遣事業、子育て世代応援事業、自分磨き推進事業など                      (3)暮らし・・・にぎわい創出推進事業、地域の防災力向上事業、地域を見つめる温故知新事業、安全安心の連携強化事業など</p> <p>・吉田地区地域づくり計画書の策定(平成30年度～令和5年度)※市とコミュニティ組織が協働で策定したもの                      平成25年度に「吉田地区市民が創る地域のまちづくり計画」が策定され、平成30年に見直しを行い「人の和 花の輪 地域の話 みんなでつながる 吉田の◎」長期目標に掲げ様々な取組が行われてきた。                      (1)自然の豊かさを活かした活動                      (2)食・技・暮らしを楽しむ活動                      (3)介護予防の活動・活き活き健康づくり                      (4)世代間交流を活性化させるための活動                      (5)住民が情報を共有するための活動</p> <p>・中津山地区地域づくり計画書の策定(令和元年度～令和5年度)※市とコミュニティ組織が協働で策定したもの                      平成26年度に「中津山地区地域づくり計画書」が策定され、令和元年に見直しを行い様々な取組が行われてきた。                      (1)子供たちが安全で健全に育てられる地域づくり                      (2)安心して暮らせる地域づくり                      (3)伝統ある文化や歴史の薫る地域づくり                      (4)安全で快適な環境にやさしい地域づくり                      (5)各種事業活動を活性化する地域づくり                      (6)世代間交流による地域づくり                      (7)スポーツを通じて健康な地域づくり</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

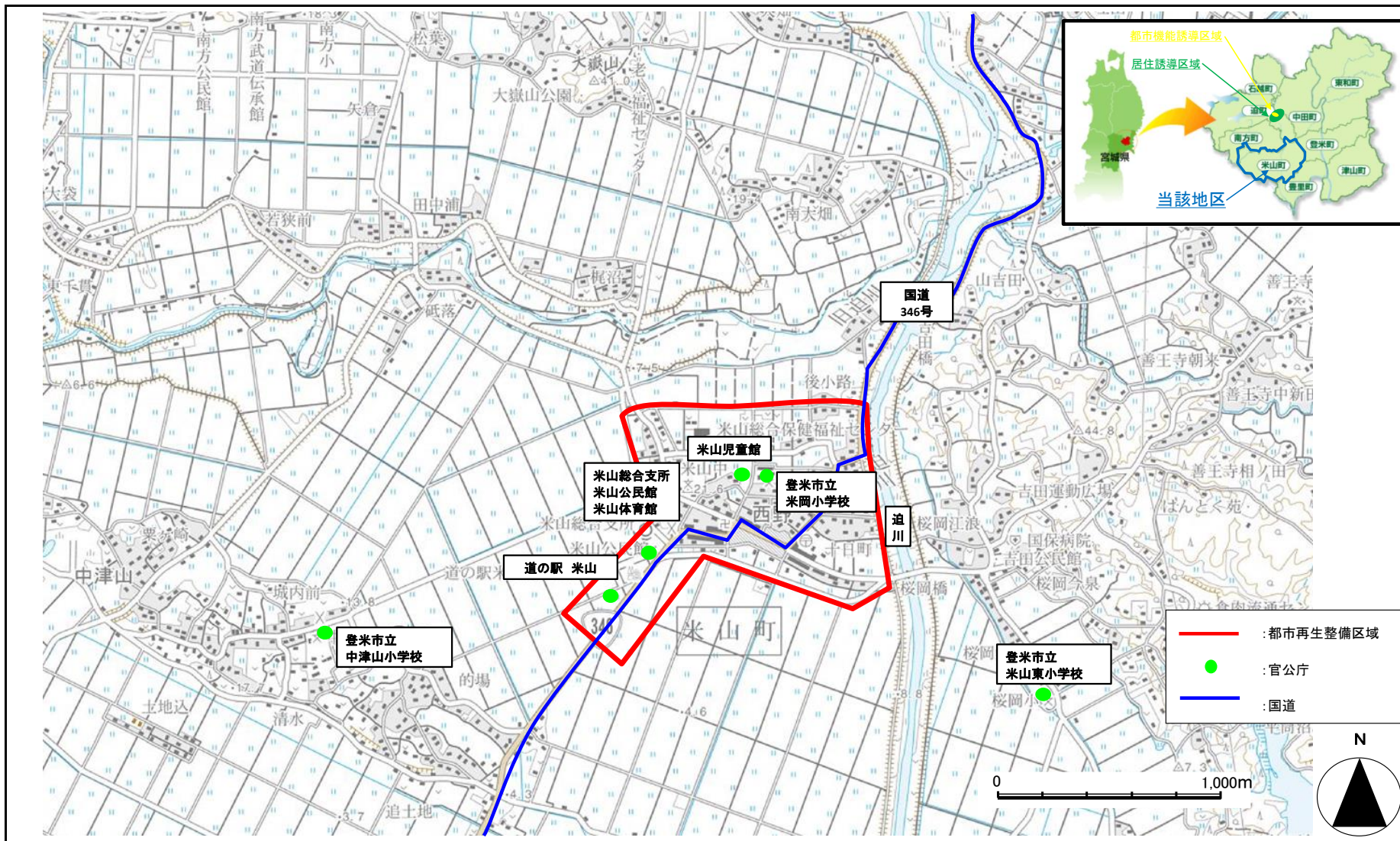
様式(1)-④-1

交付対象事業費	1,554	交付限度額	777.0	国費率	0.5
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	情報板	施設案内看板	登米市	直	5基	R7	R7	R7	R7	5	5	5		5	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター	米山地区複合化公共施設(仮称)	登米市	直	2,455㎡ (全体約8,300㎡)	R6	R8	R6	R8	5,790	1,548	1,548		1,548	
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										5,795	1,553	1,553	0	1,553	
提案事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査	事業効果分析調査	米山地区複合化公共施設(仮称)	登米市	直	米山地区	R8	R8	R8	R8	1	1	1		1	
まちづくり活動推進事業															
合計										1	1	1	0	1	
居住誘導促進事業															
事業	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費		
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
居住誘導促進事業															
合計										0	0	0	0	0	
												合計(A+B+C)	1,554		

米山地区(宮城県登米市)	面積 約165 ha	区域 登米市米山町西野
--------------	------------	-------------



米山地区(宮城県登米市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 第二次登米市総合総合計画における登米市の将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住み たいまち とめ」 目標1: 都市づくりの目標(1)豊かな自然との共存都市の実現 目標2: 都市づくりの目標(2)利便性の高いコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現 目標3: 都市づくりの目標(3)歴史・文化・伝統を活かした特色のある地域拠点の実現 目標4: 都市づくりの目標(4)広域的な発展・都市交流の実現	代表的な 指標	施設利用者数 (人/年)	18,601 (R4年度)	→	19,000 (R8年度)
			満足度 (点)	2.5 (R1年度)	→	2.56 (R8年度)
			利用促進 (事業数/年)	109 (R4年度)	→	110 (R8年度)

